

令和6年度第3回埼玉県東部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日時及び会場

令和6年11月27日（水） 午後7時30分から午後8時45分
埼玉県春日部地方庁舎 3階 大会議室（ウェブ会議システム併用）

2 出席者

- ・調整会議委員（別紙名簿のとおり）

委員総数27名 出席24名

- ・事務局

保健医療政策課、医療整備課、春日部保健所、草加保健所、越谷市保健所

- ・医療機関説明者

（議事1）

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、医療法人社団葵会(仮)AOI 吉川病院、新越谷病院

（議事2）

医療法人三愛会三愛会総合病院、医療法人美誠会荻島あかり病院

- ・傍聴者

5人

3 あいさつ

中村会長(春日部市医師会会長)

4 議事

冒頭でこの会議を公開とする旨の発議があり了承された。その後、以下の議事を行った。

(1) 病床整備の進捗状況について

医療整備課から資料1-1に基づき、過去の公募で配分した病床整備の進捗状況について説明がなされた。その後、資料1-2から1-4に基づき該当医療機関より進捗状況報告及び計画変更の協議について説明がなされた。

質疑応答の後に、資料1-2及び1-4で示された変更内容について協議がなされて了承された。

【質疑・応答】

- Q 物価高騰等により計画変更となったとの発言があった。今後、影響はあるか。(春日部市医師会 中村委員)

A 法人全体として資金調達する考えである。心配はないと考えている（順天堂越谷病院）

A グループ方針として予算の確保をしているため問題ないと考えている（新越谷病院）

Q 資料1-3に「行政との合意形成が困難な状況」と記載がある。行政とは吉川市と推察するが、どのような合意形成が必要だったのか。当市と新たに何らかの合意形成を要するものでないと認識している。（吉川市 小林委員）

A 今回の計画において一番の問題となったのが調剤薬局の設置問題であった。建築費の高騰や、地盤軟弱による費用増の問題があったことも事実である。

建築基準法に基づき、病院敷地内に調剤薬局を設置することが困難であり、建築関係に関する問い合わせをさせていただいた。薬局の設置は敷地外とするよう対策も講じたが、対応が難しいところがあった。

当初、学校計画地に調剤薬局が設置されるということで、これに甘んじていたところはあるが、計画地の優先権付与の面積縮小があった。これを合意形成に至らないと説明を申し上げた。（医療法人社団葵会(仮)AOI 吉川病院）

Q 順天堂越谷病院への質問。現在、精神病床が226床で運営している。病床整備後は、精神病床が48床になると聞いている。精神病床が48床に減った後、うまく機能するのか。（越谷市医師会 原委員）

A 急性期病棟とあわせて約90床近くの病床となる。以前よりは減るが、比較的短期間の入院を想定した精神科診療になると考えている。（順天堂越谷病院）

(以下、医療法人社団葵会(仮)AOI 吉川病院の退室後に質問があったため、医療整備課から説明を行った。)

Q 本計画は一旦棚上げにするということか。もしくは、もう一度計画を練り直すということか。確認したい。（越谷市医師会 原委員）

A 法人からは、現在、代替地での計画継続を再考中と聞いている。県の立場としては、十分な議論を行った上で採択した病院整備計画であることから、開設を実現してもらいたいという考えは持っている。法人からは、当調整会議を通じて進捗状況を報告したいという話があったと思うので、逐次、進捗状況を報告してもらおうことを考えている。（医療整備課）

Q 再考して、変更するという認識でよいか。計画地としては、吉川市に病院を建築、なるべく当初の予定地の近くで、というふうに考えてよいか。（越谷市医師会・原委員）

A まだ、法人からは計画変更するかどうか、あるいは、その内容も何も示されていないことから、この点も含めて再考中という状況。また、代替地をどこで考えるかも含めて、これから法人が考えられる、ものと認識している。（医療整備課）

Q 当初の計画地での病院整備を断念したということを本日説明したという認識でよいか。計画がゼロになるかどうかはまだわからないということによいか。
(春日部市医師会 中村委員)

A そのとおりである。この件については一部報道でも取り上げられていることから、法人から、まずは本調整会議の委員にご報告したいという趣旨で本日説明されたものと捉えている。(医療整備課)

【主な意見等】

Q 「計画地を落札」と資料1-3に記載があるが、正確には区画整理の土地について事業企画提案の内容を審査した結果、吉川市と優先的に交渉できる「優先交渉権者に決定した」という表現が正確であるので、指摘する。(吉川市 小林委員)

A ご指摘のとおり、「優先交渉権の付与」という表現が適切である。ご修正をお願いします。(医療法人社団葵会(仮)AOI 吉川病院)

(2) 病院整備計画の公募について

医療整備課から資料2-1から2-3により、公募の応募状況、公募審査にあたり今後の流れについて説明がされた。資料2-4に基づき公募審査のポイントを説明した。

参考資料1に基づき、募集した医療機能の種類及び今後の審査過程を説明した。また、公募審査にあたり参考とする資料である参考資料2から参考資料4の説明を行った。

応募医療機関2者から病院整備計画の説明がなされた後に質疑応答が行われた。

質疑応答終了後、春日部保健所が資料2-5から2-7に基づき、会議開催後の流れについて説明を行った。

【質疑・応答】

Q 三愛会総合病院への質問。急性期医療に取り組むことは非常に大変であると認識している。特に、外科系の医師であるとか、救急医療を担う医師を確保することが大変。トリアージに特化して運営していただかないと、急性期の医師を各病院が取り合う状況は、若い医師のためにならないのではないかと考える。

普段から、入院に至らない救急患者を診るような状況がよくある。数少ない専門医に大変な負担がかかってしまう状況にある。そうした意味で、トリアージをかけてくれるという意味であれば賛成である。専門医をきちんと24時間365日体制を整えられるのか。大変ではないかと考えるが、いかがか。(越谷市立病院 丸木委員)

A 夜間、毎日ではないが、4つの診療科が当番できる日を設けている。なんとか救急医療を盛り上げていこうという体制で頑張っているところ。全ての患者を

受け入れできるという状況には至っていないが、病院の方向性としては、急性期医療に力を入れていこうという考えである。(三愛会総合病院)

【主な意見等】

- 三愛会総合病院について。三郷市内の救急受入れは年々増加してはいるものの、まだまだ不十分な状態が続いているものとする。施設面については小規模な改修で対応できる点、医師・看護師等の医療人材はグループ内での異動を中心に対応するという点を踏まえても特に問題はないと考えており、ぜひご承認いただきたい。(三郷市医師会 草薨委員)
- 三愛会総合病院について。越谷市内での救急搬送がスムーズにいかないことが多くなり苦勞している。広域搬送が必要となる場合、越谷市内だけでは十分でないこともあることから、三愛会総合病院の救急搬送の受入れが増えることに期待している。賛成である。(越谷市医師会 原委員)
- 荻島あかり病院について。圏域の慢性期病床は不足しており良い計画と考える。現在建築中の工事で対応できるということで、心配はないと考えている。(越谷市 野口委員)

5 その他

医療整備課から「(仮)AOI 吉川病院から資料に一部誤りがあり、修正する旨の発言があったことから、資料1-3を修正した上で県ホームページに公開する」と説明があった。